



地域学校協働活動だより

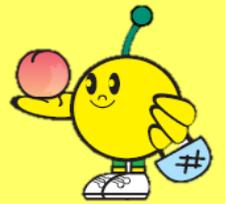
令和5年10月23日発行 福島県教育庁県北教育事務所

自分たちの地域の「よさ」を体験する

訪問日:令和5年9月5日(火)

場 所:国見町立国見小学校

内 容:第3学年 総合的な学習の時間「桃の収穫体験」



国見小学校の3年生は、総合的な学習の時間に毎年「桃の収穫体験」をしています。地域の桃農家の佐藤さんのご協力により、6月に桃の実すぐりを体験し、今回は桃の収穫を体験しました。今年は例年のない猛暑だったため、予定していた収穫の時期をずらして行いました。

佐藤さんから桃の取り方を教わった子どもたちは、「桃がたくさんあってすごいな」「はやくお家に持って帰って食べてみたい」「食べたことのある桃より大きくてずっしりしている」と、慎重に、丁寧に桃を収穫していました。



【佐藤さんの感想】

毎年子どもたちが来てくれるのを楽しみにしています。道の駅で声を掛けてもらうこともあります。子どもたちからは元気をもらっているので、続けてよかったと思っています。

【コーディネーターの感想】

地域の人とのつながりができるのが楽しいです。

改めて自分が住んでいる国見はよいところだなと感じています。



コーディネーター

【教師の感想】

地域の人との協力がなければ、このような体験はできません。体験から学ぶことができることは多いので、子どもたちに実際に体験する場を与えてもらえることは、とてもありがたいです。



教師



地域への誇り・愛着

【子どもたちの感想】

桃がたくさんあって、大きくて重いのでびっくりしました。道の駅で佐藤さんの桃を見つけたら買いたいです。

国見町CSの考え方

自分の町に誇りをもつ



アイデンティティの基礎

国見町を代表する特産品といえば「桃」ですが、近年桃農家は少なくなっているそうです。そのため、国見小学校では、子どもたちに自分たちの町のよさを知ってほしいと桃の収穫体験を行っています。子どもたちが、町のよさをどのように体験して、実感することができるかが、将来の地域づくり、町づくりにつながります。

地域で学び、地域に誇りをもつことができる教育を、地域と協働して実践することで、福島の「よさ」をいかした学びが展開されているところがとても素晴らしいですね。